

ニュース専修

'500号'

▲=主な紙面内容 △=発行年の主な出来事

オール専修人に支えられ 伝え続けて44年



【創刊号】1968年(昭和43)年5月発行
▲ 日本武道館で入学式(相馬勝夫学長式辞、森口忠造理事長・川島正次郎総長祝辞) / 甲斐農工短期大学(専修大学北海道短期大学前身)スタート
△ 3億円事件 / 日本初の心臓移植 / 川端康成にノベル文学賞 / 東大紛争 / メキシコ五輪 / 金嬉老事件

月刊紙「ニュース専修」(専修大学広報課発行)は、本号で通算500号を迎えました。1968(昭和43)年5月29日創刊号を発行して以来、44年で記念すべき500号を迎えました。タブロイド版・4ページ建てでスタートした本紙は現在、12ページ建て、6万部を発行するに至りました。この間の節目にあたる号のれもひとえに学生、ご父母、校友、教職員一丸と「宣言編集部」先輩で現存した「オール専修」のは、ベースボール・マガジン社で活躍中の松本かおりさん(平22文)に、専大スポーツ記者時代の思い出を寄せていただきました。

般面に加え、「情宣局編集部」の学生記者が中心となって取り組む「専大スポーツ」面も好評です。これらの情報は「ニュース専修」ウェブ版として、ネットワークによる発信も行っております。

「ニュース専修」と私

松本 かおり(平22文)



▲ ニューズランドで取材中の松本さん

一年次のサークルの勧誘では逃げるように通り過ぎていたのが、「専大スポーツ編集部」のブースにも気がつきませんでした。入学式の時に配布された「ニュース専修」を家で読み、「部員募集」の記事で存在を知り、10月11日(木)に初めて部室へ。あの時読んでいなかったら今何をしていただろうか。一度は、毎日新聞社のオフィスで、体育事務課や広報課の方々と、時間をかけて紙面を

紙面づくりの大切さを学んだ

校正しました。最初は、事実確認の作業は面倒だし、何度も記事を読んでいううちにウトウト…という有様でしたが、校正の重要性はここで教わりました。紙面などについて職員の方に、時には感情的になったこともあり、ご迷惑をおかけした気とお酒を共にしました。そこであらためてガツンと、私は幸せだったんだなと気づくのです。受け止められ、心援えされていたのだと、感謝しています。

(まつもと・かおり) ベースボール・マガジン社ラグビーマガジン撮影・編集記者。専大在学中は「専大スポーツ」編集長としてラグビー部などを担当。文学部・川上隆志ゼミで雑誌「SHOW」の取材・編集も。

「社会知性の開発」めざし さらなる紙面充実へ

10年100号を迎えました

ニュース専修

主なニュース

新田交歓の情景も



【100号】1977年(昭和52)11月発行
▲ 母校の隆盛に乾杯 生田キャンパス校友祭に1500人 / ベルンシュタイン文庫がやってきた / 羽川豊選手が朝日杯全日本学生ゴルフで2連覇
△ 日本赤軍による日航機ハイジャック事件 / 有珠山爆発 / 青酸コーラ事件 / 王貞治が通算756本塁打・世界新記録達成



【200号】1986年(昭和61)11月発行
▲ 外国人の志願者が急増 / 小田切美文学長が米国の提携2大学を訪問 / 全日本学生卓球女子複で田中淳子・神谷桂子組が優勝
△ NASAスペースシャトル「チャレンジャー」爆発 / 男女雇用機会均等法が施行 / チェルノブイリ原発事故 / 英チャールズ皇太子・ダイアナ妃が来日



【300号】1995年(平7)7月
▲ 望月清司学長が3選 / 専修大学受験生特集 / 特集「宇宙の新調和理論」唐木幸比古商学部教授 / 競泳の木原珠子・平中秀子両選手、国際大会へ
△ 阪神淡路大震災 / 地下鉄サリン事件 / 沖縄の米軍基地問題で紛糾 / 東京臨海副都心で「ゆりかもめ」開業 / PHS(簡易型携帯電話システム)サービス開始



【400号】2004年(平16)1月発行
▲ 出牛正芳理事長・学長の年頭の辞 / 「フランス革命と日本・アジアの近代化」プロジェクト公開講座 / 天皇杯全日本レスリングフリー120kg級で田中章仁が優勝
△ 鳥インフルエンザ発生 / 自衛隊をイラクへ派遣 / アテネ五輪 / インドネシアのスマトラ島沖で巨大地震発生